

仕 様 書

1 委託件名

伴走支援によるNPO支援業務委託

2 事業目的

人材育成、組織運営、財源確保、広報強化等に取り組みたいNPO法人に対して伴走支援を行うことで、NPO法人の組織基盤強化を実現する。

3 履行期間

契約締結の日の翌日から令和8年3月31日まで

※なお、令和7年度の業務実績が優秀であったと認められ、かつ、令和8年度の予算措置がなされた場合において、その予算額を上限として令和8年度も契約の相手方とすることがある。

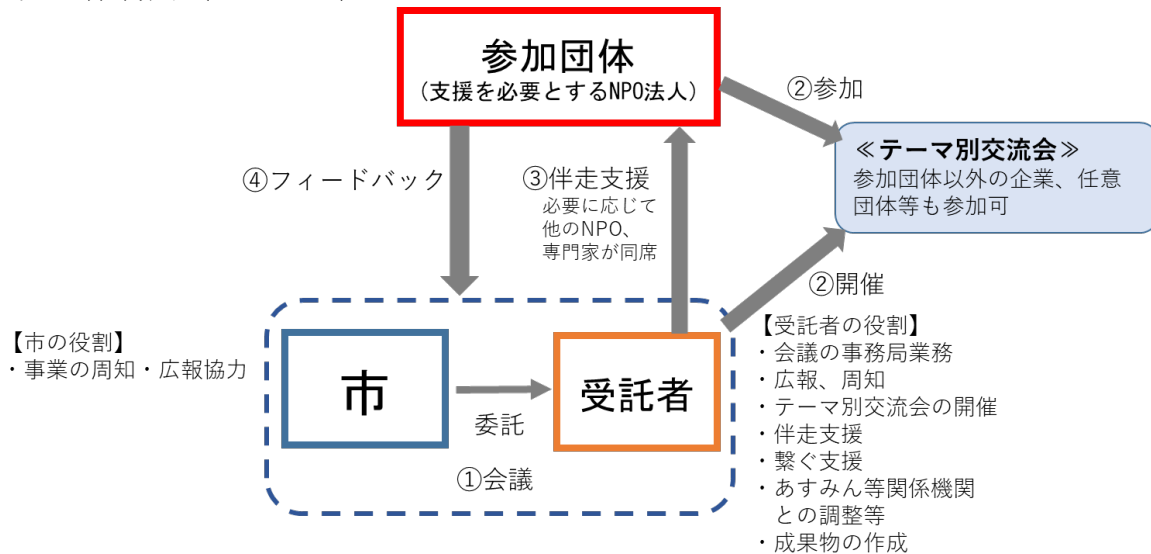
4 履行場所

福岡市

5 事業概要及び実施体制

福岡市を所轄庁とするNPO法人（約600法人）のうち支援を必要とする8以上の団体に対して、組織基盤強化に取り組むための伴走型の支援を行う。

《実施体制図（イメージ）》



《スケジュール(例)》

月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
実施内容	契約	広報	テーマ別交流会 伴走支援								成果物の提出

6 業務内容

※下記業務内容については適宜福岡市と協議の上、実施すること。

(1) 会議の事務局業務

本事業を実施するにあたり、受託者と福岡市とで会議を実施する。受託者は、会議の開催、日程調整、議事録作成等の事務局業務を行う。

(2) NPO法人等への広報

NPO法人等に対し、SNS等、本プログラムの対象者に多く利用されている媒体を用いた広報を行い、テーマ別交流会・伴走支援への参加に繋げる。

本プログラムのロゴマーク及びロゴタイプを作成し、SNS等での広報に活用する。なお、令和6年度プログラムで作成したものを継続して使用することも可能とする。

(3) テーマ別交流会の開催

NPO法人等が組織基盤強化を実現するために必要な力を身に付けることができるテーマ別交流会を10回以上開催する。テーマごとに適切な専門家を講師とし、NPO法人等がより知識を付けられるよう工夫すること。

※テーマ別交流会(例)

- ・企画書の書き方
- ・情報編集力、情報受発信力
- ・社会的インパクト評価とロジックモデル
- ・マーケティング戦略
- ・アンケート調査手法
- ・広報戦略

(4) 伴走支援

上記(3)に参加したNPO法人8団体(以下、参加団体という)以上に対し、組織基盤強化のための伴走支援を行う。1団体あたり5回を目安に、課題や論点の整理、課題解決に向けたアドバイスを繰り返し行うこと。必要に応じて参考となる他のNPOや専門家に同席してもらうこと。

※伴走支援の実施イメージ(例)

- ・団体の事業計画の設定
現状・課題の把握→事業計画案の協議→事業計画案の設定
- ・労務体制の整備
現状の勤務時間の確認→雇用契約書のサンプル提供・作成→労働保険・社会保険の案内
- ・代表の世代交代
代表の役割の課題整理→候補者への円滑な引継ぎ→関係者への周知
- ・ボランティアの活性化
現ボランティアへの聞き取り→役割分担の見直し→募集説明会の開催
- ・ファンドレイジングの強化
現寄付者へのアンケート→クレジット決済の導入→キャンペーンの実施

伴走支援は各回60分程度とし、実施方法は対面・オンラインいずれも可とする。なお、参加団体から、伴走支援に対する感想をフィードバックしてもらい、事業

の改善に活かすこと。

(5) 繋ぐ支援

伴走支援を通して、他の適切な相談先がある場合は、福岡市NPO・ボランティア交流センター等の各種機関と連携し、参加団体に対して必要な情報提供を行うこと。

(6) よくある相談原稿の作成

伴走支援の中で出た相談の中から、よくある相談とその相談に対するアドバイスや参考情報をまとめた原稿を作成すること。

7 期待する効果

- ・NPO法人等が組織基盤強化のために必要な力を身に付けることができること。
【指標】テーマ別交流会：10回以上
- ・参加団体の課題や論点等が整理され、必要に応じて適切な支援機関やNPO法人等との繋がりができること。
【指標】伴走支援への参加団体：8団体以上

8 成果物

- ・テーマ別交流会、伴走支援実施レポート…紙1部、データ
(参加者リストを含む。周知方法を記載すること。チラシ等があれば添付すること。)
- ・テーマ別交流会・伴走支援の実施後アンケート結果…紙1部、データ
- ・よくある相談原稿…A4用紙5枚程度 紙及びデータ
- ・事業実施報告書一式 …紙1部、データ